



医学部だより

第42号

2021.4.1



ようこそ徳島大学医学部へ

医学部長 赤池 雅史

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学入学共通テストという新しい入試制度の最初の受験生となり、さらには新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が拡大するなか、先の見えない不安な気持ちでいっぱいだったと思いますが、晴れて医療人への第一歩を踏み出す日を迎えたことに、心からお祝いを申し上げます。

徳島大学医学部では、昨年、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が急速に拡大するなか、急きょ、遠隔授業（eラーニング）の体制を整えました。大講義室でのスクール形式での授業だけでなく、PBL チュートリアル等のグループワークによる授業も遠隔で実施できるようにしました。受講学生を対象としたアンケートでは、これらの遠隔授業について、自分のペースでコンテンツを繰り返し視聴できる、対面と同等もしくはそれ以上にディスカッションできる、今後も継続して欲しい等、肯定的な意見が多数を占めています。一方、解剖学実習、研究室配属、臨床実習等、対面実施が不可欠な科目は、新型コロナウイルス感染症の影響で延期や一時中断した時期もありましたが、最近では十分な感染対策を講じながら、できるだけ対面で実施しています。このように、遠隔と対面の両者によるハイブリッドの教育を展開することで、医学部として教育の質保証に取り組んでいます。

さて、グローバル社会、少子高齢化社会、そして AI の発達等、予測不能な未来を切り開き、医療や社会の諸問題の解決や医学の発展に貢献していくには、既存の知識や技能の修得で満足するのではなく、常に自分を振り返りリニューアルする力、そして、新しいものを創り出す力が必要です。さらに、多様な他者と協働しながら、問題解決にあたる力も求められています。こ

れらの能力を育成するために、近年、学修は自分一人で行うのではなく、他者と関わりながら実際にその能力を使う状況の中で行うことが重要視されています。つまり、「個人勉強」から「他者との学びあい・わかちあい」へ、「教室での知識伝授」から「状況の中の学び」への転換ということです。ウィズコロナ時代に遠隔教育が普及したとしても、医療人を目指す皆さんは、患者さんやその家族、先輩や同僚、多職種との関わりあいで学ぶことの重要性を決して忘れないでください。

これから皆さんが、医学・栄養学・保健学を学ぶ、ここ徳島における医育機関の歴史は古く、幕末から明治に活躍した高名な蘭方医である関寛齋の功績により1870年に設立された徳島藩立医学校に端を発します。その後、開校された徳島県立医学校が1886年に廃校となり、医育機関の無い時代が長く続きましたが、全国に先駆けて徳島医学会（1890年～）を設立する等、医学を学び医療人を育成する志は受け継がれ、1943年の県立徳島医学専門学校の開校、さらに、戦後の1949年5月に四国唯一の国立大学医学部としての設置に繋がっています。徳島に医学部があるのは、決して偶然ではなく、このような長い歴史と関係者の熱い想いの中にあることをぜひ知ってほしいと思います。そして、医学部基礎 A 棟の前にある、徳島大学初代学長および初代医学部長である中田篤郎先生の碑の前に立ってみてください。そこには「学者如登山（学ぶ者、山に登るが如し）」の書が刻まれています。これは「学べば学ぶほど山に登るように視野・見識が広がっていく」という意味です。新入生の皆さんが、長い歴史の繋がりを実感しながら、学ぶことの本質を忘れることなく、常に自分を再創造しながら、優れた医療人へ成長していくことを強く期待しています。

目次

CONTENTS

巻頭言	1	新任教職員ご挨拶	9
新入生の皆様へ	2	新任准教授紹介	9
先輩から医学部紹介	4	退職者ご挨拶	9
学友会活動	5	数字で見る医学部	10
医学部行事予定	5	白衣授与・Student Doctor 認定証授与式	11
オープンキャンパスWEB版報告	6	受賞者紹介（教員）	11
徳島医学会報告	7	受賞者紹介（学生）	12
第67回徳島大学解剖体慰霊祭	7	編集後記	12
コロナ禍の学生生活	8		



医学科新入生の皆様へ

医学科長 橋本 一郎

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。難関の受験を突破して、本学の医学生として大学生活を始めることにお祝いを申し上げます。医学科の教育課程は、基礎医学教育と臨床医学教育に大きく分かれます。内科や外科といった診療や医療について学ぶのが臨床医学教育です。この臨床医学を学ぶ上で非常に大切でまさしく基礎となるものが基礎医学であり、医師が他の医療関係者と比べた場合に大きく違うのが、この基礎医学に関する知識の深さです。

本学医学科では、基礎医学と臨床医学に関して講義室での授業だけでなく、様々な工夫をして学習の手助けを行なっています。入学直後から医学に触れたい学生は、研究サークル活動で

あるLab部で基礎医学研究が可能です。その後の研究室配属では好きな研究室を選んで医学研究を行うことができます。またMD-PhDコースに進学して卒業前に医学博士を取得することができます。臨床医学に進むと、症例シナリオを使用して自己決定型学習を行うPBLチュートリアルが用意されています。

医学生にとって、医学学習は最も大切なことですが、大学時代は人間性を形成する大切な時期でもあります。クラブ活動やサークル活動で身体を鍛えたり、英会話などを習ったり、趣味を深める、また新しいことに挑戦するのも良いでしょう。コロナ禍により授業やクラブ活動には制約がありますが、次第に緩和されるようになるでしょう。無限の可能性を秘めた皆様の過ごす6年間で、有意義であることを心から願っております。



医科栄養学科新入生の皆様へ

医科栄養学科長 酒井 徹

ご入学おめでとうございます。新たに導入された共通テストやコロナ禍など、何かと振り回された受験勉強から解放され、新たな仲間と共に学びのスタートラインに立ちました。COVID-19

感染症は、人々の生活様式を変え、今まで“普通”であったことが“普通”にできなくなりました。門出を祝う入学式も昨年度と同様オンラインでの開催となりました。蔵本地区は医療人の教育に特化した3学部6学科があります。次世代の医療を担うみなさんは、COVID-19感染症を“正しく恐れる”能力を養ってもらいたいと思います。感染予防のために人と遮断することは簡単ですが、生活をする上で非常に制限がかかります。必要以上に感染症を恐れるのではなく、どの様なことを避ければい

いか科学的な判断に基づいた行動ができる必要があります。

医科栄養学科は、管理栄養士制度の創設と共に誕生した学科です。これまで医療・福祉、行政、学校分野などにおいて卒業生が多数活躍をしていると共に全国の管理栄養士養成機関においても教育研究者を数多く輩出しています。皆さんは入学と同時に栄養学科の同窓会である“栄友会”に所属します。名簿は3年に1度の頻度で更新をしています。卒業生がどんな場で活躍をしているか調べることは、皆さんの将来像を考える上でも参考になると思います。

大学という場は堅いイメージがあるかもしれませんが、気軽に先輩や先生方に質問してみてください。きっと親身に相談に乗ってくれると思います。



保健学科新入生の皆様へ

保健学科長 安井 敏之

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。保健学科の教員ならびに在校生一同、ご入学を心より歓迎いたします。この1年は新型コロナウイルス感染が蔓延する大変な状況の中で勉学

に励まれ、今はほっとしていることでしょう。まだ、感染状況が続く中で期待と不安が入り交じった複雑な気持ちかもしれません。私たち教員は安心して大学生活を送ることができる様にサポートをしていきたいと考えています。

蔵本キャンパスには、医学部、歯学部、薬学部と医療系の3学部があり、将来、医療系の様々な分野で活躍する学生さんが集まっています。医学部には医学科、医科栄養学科、保健学科の3学科があり、保健学科には、看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻の3専攻があります。学ぶ内容はそれ

ぞれの学部、学科、専攻で異なりますが、将来は医療人としてONE TEAMになります。勉強だけではなく、サークルを始めとした様々な活動を通していろんな学部、学科、専攻の学生さんと触れ合う機会を持ち、お互いの考えを聞き、チーム医療の基本を学んでください。保健学科棟は大学病院の隣に位置し、実習も大学病院が中心です。臨場感あふれる場所での学習は良い刺激となり、モチベーションにもつながるでしょう。感染が収束していないため、今は十分な国際交流を進めることはできませんが、日本と異なった文化や考え方を知ることも重要であり、ぜひオンライン留学などチャンスを生かして国際的視野を広げてください。しばらくは遠隔授業になりますが、感染が収束すれば眉山が見えるこの学び舎に来て充実した大学生活を送られることを心より期待しています。

新入生の皆さんへ



医学部4年次 宮本 賢三

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから大学生活が始まりますが、皆さんは大学で何をしてみたいでしょうか。大学生活では自身の専攻やその研究をはじめ、他の学問、趣味やバイト、サークル活動などに挑戦することができます。ぜひ様々なことに触れて、自身が興味を持つことや面白いと感じることを見つけていただきたいです。

大学では皆さんが将来必要とする専門的な知識や技術を学ばれると思います。その際に重要なのは、問題の発見とその解決策を模索する能力だと考えています。例えば、講義は学習のきっかけであり、その内容や生じた疑問点について自身で掘り下げていきます。これらの反復はなかなか難しいです。しかしながら、この能力を養うことは大切であり、勉学に限らずあらゆる分野で自身の糧となる知識・経験が得られると私は思います。ちょっとした疑問点や関心を持ったことは何でもとことん学んでみてください。

また、大学には様々な地域から、それぞれの価値観を持った人が集まってきます。いろいろな人と交流して、多くのことを知る機会は自身の価値観を考えていくためにも貴重であると思います。

大学生活ではこれらのような多種多様な経験をする機会が得られますが、何を選び、何に価値を見出すかは各々異なると思います。迷ったらとりあえず取り組んでみてはいかがでしょうか。自分でも意外なことに興味を持つかもしれません。皆さんが大学で興味を抱くことや目標を発見して、それらに邁進し、大学生活を楽しまれることを願っております。



医科栄養学科4年次 川人 紳

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。今年度ご入学されました皆さんは新型コロナウイルスの影響もあり、窮屈で我慢の多い日常を過ごされ入学試験についても多大な苦勞をされてきたことかと思えます。しかし、これからはある程度の自由が得られます。その中で皆さんは何をされますか？

スポーツ、読書など皆さんの好きなことを存分にやってほしいと思います。しかし、その中で何か1つ自慢ができるほど極めたものを作ってほしいということを皆さんに伝えたいです。何かを極めるということは並大抵の努力では不可能で、時間、努力、勉強と多くのものをかける必要があります。それがどれだけ世間的にはマイナーなものであっても、たとえ世間一般から評価されにくいものであったとしても極めたということは自分の自信に、そして1つの財産になると私は思っています。今は新型コロナウイルスの影響もありスポーツなどはなかなかやりにくくなっていますが、1人でできる趣味もたくさんあるかと思えます。何か1つだけでもこの大学生活で続けていただいで極めてもらえればと思います。極めたことを認めてくれる人、評価してくれる人は必ずどこかにいるはずで。また、それが新たな何かにつながるかもしれません。ぜひ、長くも短い大学生活を有意義に使ってください。皆さんの大学生活が豊かで楽しいものになることを心からお祈りしております。

保健学科看護学専攻4年次
林 香名子

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活に思いを馳せ、夢と期待に胸を膨らませていることと思います。本専攻では、4年間の勉強を通して看護師の資格を始め、保健師、養護教諭、さらには大学院では助産師の資格を得ることができます。また、実習などを通して、看護師として高い専門性を身に付けることもできます。一方で、授業や実習などで忙しい時期もあったり、コロナ禍で従来と異なる環境であったりと、戸惑うこともあると思います。困った時はぜひ教員や私たちに頼ってください。大学生活は、みなさんが思っている以上にあっという間に過ぎていきます。みなさんの大切な4年間を実りあるものにするためにも、勉学以外にも部活動やアルバイトなどにも挑戦し、ぜひ何か夢中になれるものを見つけてください。

保健学科放射線技術科学専攻4年次
大村 美月

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今年は入試制度の変更、感染症対策と大変な受験でした。お疲れ様でした。

さて大学生活ですが、大学は高校よりも自由な時間が多いです。もちろん勉強も大切ですが、アルバイト、部活動、ボランティア、旅行など今しか出来ないことにトライして下さい。特に「やりたい!」と思ったことはためらわず挑戦してください。私は1ヶ月の短期留学をして色々な国の人と交流し、たくさんの学びを得ました。大学生活では、様々な場所で様々な人との出会いがあり、日々新しい発見があります。4年間はあっという間です。特に本専攻では学年が上がるにつれ、忙しくなります。やり残しが無いよう、充実した大学生活を送られますことを願っております。

保健学科検査技術科学専攻4年次
松田 修己

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。受験が終わり、大学生活が始まりますが地元から離れることや新しい人間関係に期待と同時に不安を抱いている人も多いと思います。ですがそれは皆同じです。そう思って不安を和らげてください。

検査専攻では1年では一般教養科目の単位をとるのが主になります。2年以降は専門科目が主で、1、2年が時間的な余裕の大きい学年です。大学は何をやる、やらないが自由です。サークル、部活、バイトなどやりたいと思ったことにはためらわず取り組んで時間を有効活用してもらえたらと思います。無為に過ごすのもよいですが大学生活の4年というのは案外短いものです。毎日を大事に、楽しい大学生活を送ってください。

先輩から医学部紹介

🌸🌸🌸 新入生のみなさんご入学おめでとうございます 🌸🌸🌸

講義について

医学科4年次 久本 駿

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私からは、大学での講義、特に1年次の講義についてご紹介します。

大学の講義の科目には、教養科目と専門科目があり、1年次には主に教養科目を受講することとなります。ここで高校までの授業と異なるのは、教養科目では受講する講義を自分で好きに選び、時間割を自分で組み立てることができるという点です。自分の興味のある分野の講義を選ぶことも可能ですし、早くに講義が終わる曜日を作り、空いた時間で部活に取り組むこともできます。

それではここから講義の内容についてご紹介します。主に1年次に受講する教養科目には、「歴史と文化」、「生活と社会」といった分野を学ぶ一般教養科目群や、より高度な数学、物理、生物などを学習する基礎基盤教育科目群、英語に加え、中国語、ドイツ語、フランス語を学ぶ外国語教育科目群などがあります。他にも、スポーツをする講義や、ディスカッションやプレゼンを行う講義など特殊なものもあります。専門科目では、2年次以降のより専門的な分野の基礎を学習します。高校までの内容に比べ、少し難しい部分もありますが、今後に関わる大切な内容となってきますので、しっかり学習する必要があります。

今年は新型コロナウイルスの影響で遠隔での講義も多くなり、少し不安を抱えている方も多いのではないかと思います。自分のしたい勉強、自分の将来に直結する勉強するのは皆さんにとって有意義な時間になるはずですよ。皆さんの大学生活が充実したものとなることを願っています。



部活動・サークル活動について

医科栄養学科4年次 山崎 穂

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる新しい大学生活に胸が高まっていることと思います。私からは部活動・サークル活動について紹介します。

徳島大学の蔵本・常三島キャンパスには様々な部活動・サークル活動があり、蔵本キャンパスの学生が常三島キャンパスの部活動・サークル活動に所属することも可能です。そのため、所属することで様々な学科の人と知り合うきっかけができ、交友関係が大きく広がります。また、大学では高校や中学の部活動と異なり、学生が運営を主体的に行うため、同級生はもちろん先輩方や後輩たちとも仲良くなるができます。

どの部活動・サークル活動に入ろうか悩んでいる人は、まずは興味を持った部活動・サークル活動が行っている新歓イベントに参加してみましょう。今年は例年通りの対面で行うイベントよりもオンラインでのイベントの方が多いと思いますが、活動内容や活動時間など新入生の皆さんが気になることをなんでも先輩に聞ける場となっています。また、活動をしている場合は実際に様子を見学することもできます。気になる部活動・サークル活動に積極的に見学に行き、自分に合った部活動・サークル活動を見つけてください。

皆さんが充実した楽しい大学生活を送ることができるように願っています。



大学生協について

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私から徳島大学生協について紹介させていただきます。

蔵本キャンパスには食堂の「キッチンSAKU-LA（さくら）」、文房具や教科書を取り扱う書店の「SHOKO-LA（しょこら）」、コンビニの「LUCK-LA（らくら）」、そしてカフェテリアの「KURA-LA（くらら）」の四店舗が大学生協の運営する店舗です。

「さくら」、「しょこら」、「らくら」はテニスコート横の建物にありお昼休みには学生で賑わいます。ただし各学部棟からは少し遠いため、医学部学務課前にある「くらら」を利用する人も多くいます。

「さくら」ではお昼になると学生たちが集まり色とりどりのおかずを選び、丼ものや麺類なども多数あります。現在は感染症対策もばっちり行われており安心して利用できます。「しょこら」は種類豊富な筆記用具やレポート用紙などを完備しており、実験に必要な白衣や解剖セットなどもあり、毎年年度初めには教科書を生協カードで割引購入ができます。「らくら」では、頭を使った後のおやつやお得

保健学科放射線技術科学専攻4年次 山本 さくら

なお弁当を買うことができます。特にグミなどの種類が豊富でわたしはよく利用しています。最後に「くらら」では、おいしく多種類のあたたかいお弁当を購入したり、サラダやおやつ、お弁当にもう一品できる小さなおかずも魅力的です。また隠れメニューとして13:00～だけ注文できる特別メニューもあります！ぜひコーヒーメーカーの下などにあるメニュー表を探してみてください。



学 友 会 活 動

●運動部

	クラブ名	助言・指導教員		クラブ名	助言・指導教員
1	水上競技部(男女)	内田 貴之	10	バスケットボール部(男女)	川人 伸次
2	弓道部(男女)	秦 広樹	11	合気道部(男女)	常山 幸一
3	硬式野球部	橋本 一郎	12	硬式庭球部(男女)	高木 康志
4	柔道部	谷 憲治	13	軟式庭球部(男女)	森 健治
5	空手道部(男女)	和泉 唯信	14	陸上競技部(男女)	米村 重信
6	卓球部(男女)	西岡 安彦	15	準硬式野球部	島田 光生
7	バドミントン部(男女)	西岡 安彦	16	ラグビー部	鶴尾 吉宏
8	サッカー部	高橋 章	17	剣道部(男女)	久保 宣明
9	ゴルフ部(男女)	橋本 一郎	18	バレーボール部(男女)	岡久 稔也

●文化部

	クラブ名	助言・指導教員
1	軽音楽部	橋本 一郎
2	茶道部	竹谷 豊
3	地域医療研究会	谷 憲治
4	栄養学研究部	酒井 徹
5	外国語研究会	安倍 正博
6	室内楽同好会	赤池 雅史
7	TIFMSA(徳島国際医学生連盟)	赤池 雅史
8	先端医療研究会	佐田 政隆
9	IAHSS(保健学科国際交流サークル)	田中 祐子

※入部等のお問合せについては、医学部学務課学生係 ☎088-633-7982)へご連絡ください。

医学部行事予定 (令和3年4月～令和3年9月) ※変更となる可能性があります

- 4月1日(木)～8日(木)
医学部新入生オリエンテーション
SIH道場～アクティブ・ラーニング～
(医学科、医科栄養学科、保健学科)
- 4月9日(金) 新入生授業開始
(医学科、医科栄養学科、保健学科)
- 4月9日(金)～15日(木)、5月25日(火)～31日(月)
学生定期健康診断

- 5月26日(木) 遺骨返還・感謝状贈呈式
- 8月～ 西日本医科学生総合体育大会 (主管：鹿児島大学)
- 8月実施 徳島大学オープンキャンパス (学部説明会)





》 オープンキャンパス WEB版 報告 》



医学科

医学科では赤池医学部長、橋本医学科長に挨拶の動画撮影をお願いし、入試委員長が医学科の概要を説明する動画を作り（25分ほど）、そして模擬授業として脳神経外科高木教授に動画（20分）を撮っていただきました。入試そのものについてはアドミッション部門に作っていただいた動画を載せていただきました。

これらはオープンキャンパスといっても、令和3年3月末日まで掲載され、受験生が徳島から遠く離れていたり、他の大学のオープンキャンパスと重なっても視聴可能ですし、再度見て確認することもできる利点がありました。しかし、それだけだと自分でキャンパスを見ることはできないので、対面の通常のオープンキャンパスは求められ、それでもWeb版は今後も必要とされそうです。

さらにキャンパスや町の様子、授業、カリキュラム、部活や海外交流などを在学生に話してもらおうのが良いだろうと考え、在学生による座談会を遠隔会議によって行うことにしました。参加者は1年から6年までほぼ学年に二人ずつです。これは大学全体のWebオープンキャンパスからリンクを貼って医学科のホームページから見るようにしました。この座談会もアン

ケートの結果、概ね好評でした。何より、主催した入試委員長である私が、大まかに話題にしたいことを提示しただけだったのに対し、参加者が各自資料を集めたり、伝えるべき内容をしっかりまとめていたことに感動してしまいました。この座談会は期間限定での公開でしたが、共通テスト後の願書提出期に再び視聴可能として徳島大学へと強く誘いました。

（医学部入試委員長（細胞生物学分野 教授） 米村重信）



医科栄養学科

令和2年度の医科栄養学科のオープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染症の影響で残念ながら対面開催は中止となりましたが、WEB版のオープンキャンパスが開設されました。公開日から1カ月でのページビュー数は1,084で、1日の平均ページビュー数は35となっています。WEB版の内容は、酒井徹学科長のご挨拶から始まり、阪上医学部入試委員による医科栄養学科の紹介と医科栄養学科卒業生の就職状況の説明、堤講師（代謝栄養学分野）のミニ講義①「管理栄養士になって見つける夢・かなえる夢」、二川教授（生体栄養学分野）のミニ講義②「宇宙栄養学」であり、令和3年3月末日まで視聴できます。ミニ講義以外にも、高等教育研究センターアドミッション部門からの令和3年度入学者選抜の概要、さらには夢ナビでのミニ講義、入試情報・データも同時に公開されています。例年センター試験が終わってからのホームページのビュー数が増えるようですので、進路の最終決

定に向けて、今後もお役に立てるのではないかと思います。例年ですとミニ講義の後にキャンパスツアーを開催していましたが、令和2年度は残念ながら叶わず、学生スタッフや教職員との交流ができませんでした。どうすれば医科栄養学科のアットホームな良さが分かってもらえるのか、今後の課題となりました。

今回ご視聴いただいた方々からのアンケートの一部をご紹介します。「お話を聞いてみたいと思っていた先生の講義を聞くことができ、さらに興味が湧きました。ありがとうございます」、「キャンパス内の雰囲気や構造も詳しく見れると更に良いと思われそうです」、「対面開催では、先輩たち含め大学の雰囲気を肌で感じる事が出来るので受験生本人のモチベーションアップにはかなり効果があると思います」、「保護者の方から」「WEB開催は特に遠方からの受験を考えてる保護者としてはかなりありがたいです」。視聴して頂いた受験生の皆様とは、キャンパスでお会いできることを楽しみにお待ちしております。

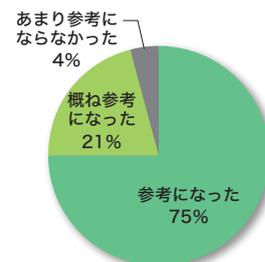
（医学部入試委員（代謝栄養学分野 教授） 阪上 浩）

保健学科

令和2年度、コロナ禍でのオープンキャンパスはWEB開催となりました。大学ホームページ受験生サイトに、学科紹介と入学試験概要を説明する動画を8月7日から令和3年3月22日まで公開する予定です。動画では施設や授業・実習の紹介、卒業後に取得可能な国家資格などについてわかりやすく説明し、医療人を希望する受験生に自分の将来像を描いてもらいやすい内容になっています。12月2日の時点では保健学科全体で3,158回（看護学専攻1,206回、放射線技術科学専攻1,051回、検査技術科学専攻901回）のアクセスがあり、視聴された方の中で24人（高校3年生14人、2年生6人、1年生1人、保護者3人）がアンケートに協力してください、96%の方が参考になったと回答してくださいました（図1）。WEB開催の利点として、他の学部も見学可能、オンデマンドの利点、遠隔地からも参加しやすいという意見があった一方、デメリットとしてキャンパスの雰囲気を体験できない、他の受験生や在学生との交流ができないという意見が寄せられています。過去のオープンキャンパスでは看護学専攻の体験実習・

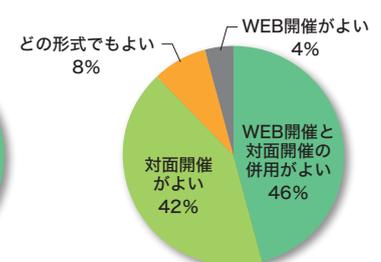
病院見学、放射線技術科学専攻・検査技術科学専攻の施設見学や実験の体験が好評でしたから、対面開催を希望する声が多いのは当然かと思えます（図2）。令和3年度のオープンキャンパスは対面開催も可能となることを願っています。

（医学部入試委員（放射線治療学分野 教授） 生島仁史）



（図1）

オープンキャンパスWEB版は、進路を決める上で参考になりましたか？



（図2）

今回は、オープンキャンパスをWEB活用しましたが、次回の開催形式としてよいと思われるものを選択してください。

徳島医学会報告

■ 第262回徳島医学会学術集会(令和2年度冬期)

第262回徳島医学会学術集会は、令和3年3月7日(日)に徳島県医師会館を会場に開催された。今回の大学側の担当は、細胞生物学分野 米村 重信教授、形成外科学分野 橋本 一郎教授が務めた。今回、新型コロナウイルス COVID-19感染の対策を講じての開催となった。前集会と同様に、対面形式のポスター発表は行わず、講演は、十分な感染対策のうえ、県医師会のネットワークを通じた Web 配信とした。ポスターは、音声付き MP4 形式でホームページ上に2週間公開し、徳島医学会賞および若手奨励賞の審査を行うこととした。会場では、教授就任記念講演として、地域呼吸器・総合内科学分野 篠原 勉特任教授による「肺非結核性抗酸菌症の診断と治療-肺結核との相違点と非典型例を中心に-」、徳島大学キャンパスライフ健康支援センター保健管理部門 井崎 ゆみ子教授による「思春期青年期の若者に見られる抑うつ」をご講演いただいた。赤池 雅史医学部長、齋藤 義郎県医師会長のご挨拶の後、第45回徳島医学会賞及び第24回若手奨励賞授与式が行われ、引き続き徳島医学会賞受賞記念講演として、徳島大学大学院医歯薬学研究部代謝栄養学分野の原 加奈子先生による「重症病態における筋萎縮と尿中タイチン濃度に関する検討」、徳島西

細胞生物学分野 教授 米村 重信
形成外科学分野 教授 橋本 一郎

医師会の佐藤 隆久先生による「徳島西医師会による糖尿病無料検診20回の概要」をご講演いただいた。続いて、公開シンポジウム「キズが治るメカニズムときれいに治す治療」では、特別講演として、Web 会議システムを用いてリモート参加いただいた産業医科大学病院形成外科の安田 浩診療教授に「創傷治療の基本的な考え方と最近の話題」というタイトルで、創傷に対する考え方の変遷と最新の治療に至るまで様々な話題についてご講演いただいた。徳島大学大学院医歯薬学研究部細胞生物学分野の米村 重信教授と栗栖 修作助教にそれぞれ「細胞の死に関する上皮細胞の反応」、「上皮細胞を支える基底膜の形成」をご講演頂き、徳島大学大学院医歯薬学研究部形成外科学分野からは峯田 一秀助教と安倍 吉郎准教授がそれぞれ「キズの診かたと治し方～急性創傷編～」、「治りにくいキズを治す～慢性創傷編～」の講演を行った。

本学術集会の開催にあたり、徳島県医師会、徳島医学会事務局、関係スタッフの皆様およびご参加、ご協力いただいた関係の皆様に、心より感謝申し上げます。

(文責：形成外科学分野 助教 峯田一秀)



第67回 徳島大学解剖体慰霊祭

蔵本事務部医学部学務課



令和2年12月18日(金)15時から徳島大学大塚講堂において、第67回徳島大学解剖体慰霊祭が開催され、御遺族、白菊会会員、医学部・歯学部・病院教職員、学生等関係者約200人が参列いたしました。献体者の霊に黙祷を捧げた後、医学部長、歯学部長をはじめとする関係者が追悼の辞を述べ、その後参列者全員が祭壇に白菊を献花し、系統解剖、病理解剖のために献体して下さった方々の亡き御霊6608柱の御冥福をお祈りしました。献体運動等の活動により献体に対する世間の理解が、ますます深まってきております。今後も引き続き献体に対するご理解とご協力をお願いいたします。

コロナ禍の学生生活



医学科2年次 姜 泰成

私たちの学生生活はコロナ禍の中で始まりました。しかし、コロナ禍の学生生活でも学生の本分たる学業においてはさほど支障はありませんでした。例えば、インターネットを用いた講義により、あまり不自由なく学習を行えたように思います。レポートなどの課題もネット上で提出でき、講義動画も何度も見れること

で詳しく知ることができ、これは対面授業では難しいことなのではと思ったほどでした。このように、コロナ禍であっても、勉強はできます。むしろ、このような状況だからこそ今何ができ、何をすればいいのか、そういったことについて考えなければならない一年だったのではないかと思います。



医学科3年次 福田 翔一

新型コロナウイルス感染症によって、授業は完全にオンラインで行うことになりました。専門の授業をオンラインで行うことに、最初は大丈夫なのか不安に思っていたのですが、いざ始めてみるとわからない部分を何回も見直すことができるので、知識の定着には一番良いのではないかと今は思っています。また、私は英語系のサークルに所属していますが、このコロナ禍では集まってサークル活動をするのもままなりません。

だったので、オンライン上で英語でプレゼンをしたり、Tedトークを紹介したりしました。令和3年度もこの状況は変わらないと思っているので、自分たちで楽しめることを見つけていこうと思っています。

この新型コロナへの状況は短期的に解決できるものではないと思います。みなさんもStay Homeで時間があるうちにしかできないことをやってみるのはどうでしょうか？



医科栄養学科2年次 北川 明日香

「憧れの大学生生活」。思い描いていたものとは大きく違ったものの、意義のある1年だと感じています。こんなにも友達に会える嬉しさが身に染みるとは思ってもいませんでした。

画面越しでは伝わらない、その人のエネルギーに触れることで自分自身を刺激する。それが毎日を生き生きと過ごす源となっています。

日々の中で、私は可能な限り直接人に会ったり話したりする機会を得るようにしています。文面よりも電話、電話よりも直接。明るい人と話す元気が出たり、何かを頑張っている人にはやる気をもらったりしま

また、“今”できること、興味のあることに全力で挑む。そうして今ある状況の中で充実した日々を送ることで、それが強みや自信となってその先の自分自身を支えてくれると信じています。



医科栄養学科3年次 関本 大介

令和2年度はほとんど登校ができず、実習などもオンラインで行うことが多くありました。

に驚かされ、栄養士の方の「子どものころから正しい食事や栄養を身に付けてもらいたい」という思いに私自身も共感しました。私自身も子供の成長に寄り添う形で関わっていきたく強く思うようになりました。

その中で、自分自身の自由な時間が増えたため校外の方と交流する機会が増えました。私自身が食育に興味があったため、離乳食教室や子供の料理教室をされている方を紹介していただき、実際の教室を見学させていただきました。子供の好奇心や積極性、成長速度

学習面においては不安の残る一年でしたが、色々な人と深くかかわることができ、将来についてじっくり考えることができた一年でした。



保健学科看護学専攻2年次 檜 祐芽

大学1年次の始まりは思い描いていたものとはかけ離れていました。遠隔授業で学校に行く機会がなく、朝起きてパソコンの電源をつけ、一人で講義を受けることが日課となりました。最近は時々ある対面授業で少しずつ顔見知りの人が増えていくことが楽しみです。技術の授業を受けると、大学生になったことをより実感することもできます。ワクワクしながら入った

部活動も再開と中止を繰り返し、例年通りの試合や練習数を経験することはできませんでした。しかし、部活の練習後に同期と一緒にご飯を食べに行き、たわいない話をできることが幸せです。自粛が付きまとう世の中で、人と関わることでできる喜びを噛み締めながら過ごしています。



保健学科検査技術科学専攻3年次 野中 蓮

2年生になって、ほとんど遠隔授業になったので家で過ごす時間が格段と増えました。そのため、家の中で出来るような趣味に多くの時間を割いたり、これまであまりしなかった自炊を試してみたりと、自分の中で工夫して日々過ごしています。また、たまに友人とご飯を食べに行くことで日々の小さなストレスを発散しています。

1年次の大学生活とは大きく変わり、想像していた大学生活を送れない不満はありますが、こんな大学生活でも楽しく過ごすことができているので、コロナウイルスが収まるまで、いつまで続くかわからない“自粛”生活を送らなければならないですが、その中でも工夫して短い大学生活を豊かにしたいと思っています。

新任教職員ご挨拶



腎臓内科学分野 教授 脇野 修

令和3年4月1日付けで内科系（腎臓内科学分野）の教授を拝命いたしました。私は平成2年慶應義塾大学医学部を卒業した後、同大学で腎臓内分泌代謝内科に属し、腎臓病とくに高血圧、糖尿病、肥満といった生活習慣病による腎障害の病態解明と新規治療法の開拓、さらに透析患者における栄養、代謝、感染症に関する研究および臨床に従事いたしました。徳島県は超高齢化社会であり、生活習慣病、加齢に伴う慢性腎臓病の患者さん、さらに透析導入の増加が、医療経済を圧迫することが明白です。透析

予防のみならず、透析患者のQOLの向上を目指すトータル・ネフロロジーを推進いたします。腎臓、透析専門医の育成システムの充実と、県内への医師の派遣はもちろん、徳島大学において腎臓病研究の更なる発展も目指したいと思います。コロナ下ではありますが、東京と比べ静謐な徳島ですので、できることなら早めに県内の諸先輩方OB・OGの先生方と交流し、腎臓病、透析診療を軸としたメディカル・アライアンスを構築したいと考えています。今後とも御指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



実践地域診療・医科学分野 特任教授 新家 崇義

令和3年4月1日付けで徳島大学大学院医歯薬学研究部実践地域診療・医科学分野の特任教授を拝命致しました。この場をお借りしまして、謹んでご挨拶申し上げます。私は平成13年に岡山大学を卒業後、放射線科に入局し、岡山大学および関連病院にて臨床研鑽を積んでまいりました。主な専門分野はPET核医学ですが、画像診断全般の診療・教育・研究に取り組んでおります。平成27年から平成29年

の2年間、徳島大学病院放射線部にて勤務させて頂いた後、岡山大学、川崎医科大学を経て、故郷である四国の徳島大学と本寄附講座の設置元である阿南医療センターに赴任させて頂くこととなりました。微力ではありますが、徳島・四国の地域医療の発展に貢献できるように、力を尽くしてまいります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



実践地域診療・医科学分野 特任教授 吉川 幸造

令和3年4月1日付けで徳島大学大学院医歯薬学研究部実践地域診療・医科学分野特任教授を拝命いたしました。私は平成13年に徳島大学を卒業後、第一外科に入局し徳島大学および関連病院で勤務してきました。専門は上部消化管の腹腔鏡手術および肥満手術で、

最近ではロボット手術を主に行ってまいりました。徳島大学と阿南医療センターの連携、手術支援、研修医の効果的なトレーニング、地域医療を担う若手医師育成など微力ではありますが努力する所存です。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いたします。

新任准教授紹介

異動年月日	異動内容	氏名	所属
R3.1.1	採用	石澤 有紀	薬理学
R3.1.1	昇任	駒 貴明	微生物病原学

退職者ご挨拶



精神医学分野 教授 大森 哲郎

令和3年3月末で精神医学分野教授を定年退職いたしました。着任したのは平成11年です。精神疾患は稀で特殊な病気という位置づけから、誰もが罹るよくある病気（common diseases）という位置づけへと動いていました。徳島大学の地の利と人の和を活かし、診療、教育、研究の3面において臨床教室

の責務を果たすべく努めてまいりました。在職22年の間に分野内の同僚は次々と若い世代に入れ替わりましたが、いつも優秀な人材に恵まれていました。医学部のみなさまの長年のご厚誼とご支援に心から感謝するとともに、徳島大学医学部のますますの発展を心から祈っております。



胸部・内分泌・腫瘍外科学分野 教授 丹黒 章

令和3年3月31日をもって退職いたします。平成16年12月1日の赴任以来16年4か月、多くの方に大変お世話になりました。わが第二外科は昭和29年の開講です。教室名は「病態制御外科」からわかり易い「胸部内分泌腫瘍外科」と改めました。診療科としては呼吸器外科と食道・乳腺・甲状腺外科を標榜し、外科のサブスペシャリティ7領域のうち、呼吸器、乳腺、内分泌の3つの外科領域を担当し、高難度である食道外科専門医も育成してきました。医学科長、副病院長、医学部長も勤めさせていただき

したが、どれだけ皆様に恩返しできたかを顧みると決して十分とは言えません。最終年はコロナに振り回されました。経済至上で復興してきた日本は少子化で漸減する資源を高齢者福祉に投入せざるを得ず、教育への投資は年々先細りしています。現場は中期目標達成に汲々となり、夢のある将来が語ることがなくなりました。「後生可畏」無尽蔵の可能性を持つ若人にこの言葉を送ります。日夜研鑽して利他の本分を全うしてほしいと思います。

数字で見る医学部

～令和3年3月 卒業者の進路状況～

R 3.3 現在

医 学 科	
進 路 先	合計
JA 徳島厚生連吉野川医療センター	3
相澤病院	1
愛知県立中央病院	1
青梅市立総合病院	1
明石市立市民病院	1
飯塚病院	1
医仁会武田総合病院	1
一宮西病院	1
磐田市立総合病院	1
宇治徳洲会病院	1
愛媛県立中央病院	1
大分大学医学部附属病院	1
大阪急性期・総合医療センター	1
大阪警察病院	1
大阪府済生会野江病院	1
大阪府立大学医学部附属病院	1
大阪労災病院	1
香川県立中央病院	1
北播磨総合医療センター	1
岐阜県総合医療センター	1
岐阜大学医学部附属病院	1
京都桂病院	2
近畿中央病院	1
倉敷成人病センター	1
倉敷中央病院	3
高知赤十字病院	1
神戸市立西神戸医療センター	1
神戸大学病院	1
神戸中央病院	1
神戸労災病院	2
公立学校共済組合近畿中央病院	1
公立学校共済組合中国中央病院	1
国立国際医療研究センター国府台病院	1
国立病院機構災害医療センター	1
国立病院機構横浜医療センター	1
さいたま赤十字病院	1
札幌医科大学附属病院	1
札幌東徳洲会病院	1
静岡県立総合病院	1
静岡市立静岡病院	1
社会医療法人愛仁会明石医療センター	1
社会医療法人愛仁会高槻病院	1
湘南鎌倉総合病院	1
市立伊丹病院	1
市立四日市病院	1
製鉄記念広畑病院	1
聖隷佐倉市民病院	1
高松赤十字病院	1
千葉大学医学部附属病院	2
中国中央病院	1
ツカザキ病院	1
獨協医科大学埼玉医療センター	1
徳島県鳴門病院	2
徳島県立中央病院	2
徳島市民病院	1
徳島赤十字病院	9
徳島大学病院	10
徳山中央病院	1
戸塚共立第1病院	1
中頭病院	2
長崎県対馬病院	1
ひだか病院	1
姫路聖マリア病院	1
姫路赤十字病院	1
兵庫県立尼崎総合医療センター	1
兵庫県立淡路医療センター	1
兵庫県立加古川医療センター	1
船橋二和病院	1

洛和会音羽病院	1
若草第一病院	1
和歌山生協病院	1
小 計	98
未定	8
小 計	8
合 計	106

医 科 栄 養 学 科	
進 路 先	合計
(株)レパスト	1
(一社)日の出医療福祉グループ	1
I&H(株)	1
日本マクドナルド株式会社	1
アイランド薬局	1
大塚製菓株式会社	1
神奈川県(川崎市) 職員	1
株式会社阿波銀行	1
株式会社ザグザグ	1
協同食品株式会社	1
相模原市役所	1
サントリー知多蒸留所株式会社	1
社会福祉法人 道心	1
徳島県職員	1
徳島県職員(臨時)	1
日清医療食品	1
八王子市役所	1
メディサイエンスプランニング(株)	1
雪印メグミルク(株)	1
箕輪町職員	1
小 計	20
大 学 院 進 学	
徳島大学大学院	25
資生堂美容技術専門学校	1
大阪大学大学院	1
筑波大学大学院	1
小 計	28
未定	2
就職も進学もしない	1
小 計	3
合 計	51

保 健 学 科 : 看 護 学 専 攻	
進 路 先	合計
徳島大学病院	22
徳島赤十字病院	2
徳島健生病院	1
徳島県職員	2
鳴門市職員	1
阿南市職員	1
吉野川市地域包括支援センター	1
藍住町保健センター	1
香川医科大学附属病院	1
愛媛大学医学部附属病院	1
市民宇和島病院	1
愛媛県職員	1
倉吉市職員	1
鳥取県教育委員会	1
鳥取市内公立小学校	1
神戸大学医学部附属病院	2
神戸市民病院機構	2
神戸市立医療センター中央市民病院	1
神戸市民病院機構 西市民病院	1
加古川中央市民病院	1
明石市民病院	2
兵庫県立尼崎総合医療センター	1
神戸市職員	1
大阪医科大学附属病院	1
大阪市立大学医学部附属病院	1
大阪府立病院機構 大阪母子医療センター	1
大阪赤十字病院	1

淀川キリスト教病院	1
京都府立医科大学附属病院	2
慶應義塾大学病院	1
東京医科歯科大学医学部附属病院	1
大分県内の病院	1
北海道大学病院	1
小 計	59
大 学 院 進 学	
徳島大学大学院	6
徳島文理大学大学院	1
小 計	7
未定	2
小 計	2
合 計	68

保 健 学 科 : 放 射 線 技 術 科 学 専 攻	
進 路 先	合計
徳島大学病院	1
川島病院	1
医療法人栄寿会 天満病院	1
きたじま田岡病院	1
高知大学医学部附属病院	1
市立八幡浜総合病院	1
岡山中央病院	1
旭川荘療育・医療センター	1
津山中央病院	1
吉島病院	1
島根大学医学部附属病院	1
三田市民病院	1
社会医療法人 渡邊高記念会	1
ツカザキ病院	1
りんくう総合医療センター	1
市立ひらかた病院	1
大阪回生病院	1
洛和会ヘルスケアシステム	1
くれやま胃腸外科・整形外科	1
新行橋病院	1
福岡大学西新病院	1
沖縄医療生活協同組合	1
小 計	22
大 学 院 進 学	
徳島大学大学院	12
大阪大学大学院	1
小 計	13
未定	3
小 計	3
合 計	38

保 健 学 科 : 検 査 技 術 科 学 専 攻	
進 路 先	合計
きたじま田岡病院	1
徳島県 JA	1
鳴門病院	1
まるがめ医療センター	1
高知大学医学部附属病院	1
松山済生会病院	1
岡山博愛会病院	1
津山中央病院	1
済生会 兵庫県病院	1
ひだか病院	1
大阪済生会 野江病院	1
淀川キリスト教病院	1
古賀総合病院	1
浅草病院	1
SRL	1
小 計	15
大 学 院 進 学	
徳島大学大学院	4
小 計	4
合 計	19

白衣授与・Student Doctor 認定証授与式

医療教育学分野 教授 赤池 雅史



令和3年1月4日、大塚講堂にて、医学科4年生121名を対象に、白衣授与・Student Doctor 認定証授与式が行われました。今回は新型コロナウイルス感染症対策のために、三密を避けて、参加は体調確認の上、学生および学内関係者に限定し、記念撮影の時以外は常時マスク着用で実施しました。第一部では赤池雅史医学部長、香美祥二病院長、荒瀬誠治青藍会会長からのご挨拶と山本秀樹さんの学生代表宣誓の後、学生ひとりずつに徳島大学病院のエンブレムが肩に刺繍された白衣と全国医学部長病院長会議発行のStudent Doctor 認定証が授与されました。第二部ではキャリア形成教育として、和泉唯信先生（臨床神経科学分野教授）と秦広樹先生（心臓血管外科学分野教授）のご講演が行われました。

臨床実習前教育を修了し、共用試験医学系CBT（コンピュータを用いて知識を客観的に評価する試験）とOSCE（シミュレーションによる客観的臨床能力試験）に合格した医学生は、Student Doctorとして、4年次1月から6年

次にかけて65週間のクリニカル・クラークシップ（診療参加型臨床実習）を履修します。この臨床実習プログラムは、徳島大学病院ならびに学外での実習で構成されており、学生は指導医の下で診療チームの一員として学びます。最後になりましたが、この度、学生に授与された白衣は青藍会からのご寄贈によるものであり、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。



◆◆ 受賞者紹介 ◆◆

令和2年度岡奨学賞

黒田 雅士（代謝栄養学分野 特任助教）
「褐色脂肪熱産生機能を制御する転写因子の同定及び機能解析」

中本 晶子（実践栄養学分野 助教）
「柑橘類ポリフェノールの免疫調整機構の解明」

※医学部および先端酵素学研究所において、基礎医学における研究成果が顕著な人を表彰する賞です。

医学部ベストティーチャー・オブ・ザ・イヤー2020

医学科

榊原 正太郎（生化学分野 助教）
近久 幸子（統合生理学分野 講師）
木戸 玲子（顕微解剖学分野 助教）

医科栄養学科

大西 康太（臨床食管理学分野 助教）

保健学科

富永 辰也（生体機能解析学分野 准教授）

※学生の投票に基づき選考される賞です。

令和2年度医学部優秀教育賞

医学優秀教育賞

清水 真祐子（疾患病理学分野 助教）

栄養学優秀教育賞

中本 真理子（実践栄養学分野 講師）

保健学優秀教育賞

櫻井 明子（微生物・遺伝子解析学分野 助教）

※医学科、医科栄養学科、保健学科の教育および学生指導に貢献した人を表彰する賞です。

医学部医学科ベストティーチャー・オブ・ザ・イヤー・イン・クリニカル・クラークシップ2020

医学科

八木 秀介（地域医療人材育成分野 特任准教授）
上野 義豊（病院救急集中治療部 助教）
四宮 加容（眼科学分野 講師）
倉橋 清衛（血液・内分泌代謝内科学分野 助教）

※学生の投票に基づき選考される賞です。

◆◆◆ 受賞者紹介 ◆◆◆

令和2年度 中田賞



第67回医学部卒業生(令和3年3月卒業)
宇田 早希

この度は、中田賞という名誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。この賞をいただけたのは、熱心に指導して下さった先生方をはじめ、どんな時も優しくアドバイスをして下さった先輩方、互いに努力し助け合った友人、温かく見守ってくれた家族の支えがあったおかげです。心より感謝しております。この賞を励みに、大学での経験や学び、出会いを大切にしながら、医師として医療に貢献できるよう、今後も精進してまいります。

令和2年度 児玉賞



第4回医科栄養学科卒業生(令和3年3月卒業)
那須 七海

この度は、児玉賞という名誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。この賞をいただくことができたのは、温かくご指導くださいました先生方をはじめ、親身になって相談に乗っていただいた先輩方、互いに努力し切磋琢磨し合った友人、見守ってくれた家族のおかげだと考えております。心より感謝いたします。今後もこの受賞を励みとし、理想とする管理栄養士として社会で貢献できるよう、日々精進してまいります。

令和2年度 看護学専攻賞



第16回看護学専攻卒業生(令和3年3月卒業)
黒川 未稀

この度は、名誉ある看護学専攻賞をいただき大変光栄に思います。この賞をいただけたのは、コロナ禍という大変な時期の中で、親身になってご指導して下さった先生方や職員の皆様、共に支え合った友人、見守ってくれた家族の支えのおかげです。心より感謝申し上げます。周りの支えがあったからこそ、非常に充実した大学生活を送ることができ、大きく成長のできた4年間でした。今後もこの賞を励みとし、社会に貢献できるよう、日々精進してまいります。

令和2年度 放射線技術科学専攻賞



第16回放射線技術科学専攻卒業生(令和3年3月卒業)
佐藤 義秀

この度の名誉ある放射線技術科学専攻賞の受賞は身に余る光栄です。今回の受賞は懇切丁寧に指導くださった先生や先輩方、互いに研鑽し合った同期生、その他の学部4年間を通じて巡り合った全ての方々、及びこれまで支えてくれた家族のお陰で成し得たことです。この場を借りて感謝申し上げます。今後とも同賞の名に恥じぬようより一層精進していく所存です。

令和2年度 検査技術科学専攻賞



第16回検査技術科学専攻卒業生(令和3年3月卒業)
岩垣 侑真

この度は、名誉ある検査技術科学専攻賞をいただき大変光栄に思います。この賞をいただけたのは、親身になってご指導して下さった先生方をはじめ、苦楽を共にした友人、職員の皆様、温かく見守ってくれた家族のおかげです。大学生活を通して様々な経験を積むことができ、成長を感じた4年間でした。今後もこの賞の受賞を励みとし、さらに経験を積み、社会に貢献できるよう精進してまいります。

令和2年度 医学部優秀学生賞

【学生】

栄養生命科学教育部博士前期課程2年次：奥村 陽介
栄養生命科学教育部博士前期課程2年次：加藤 彩乃
保健学科看護学専攻4年次：金子 樹乃
保健学科放射線技術科学専攻2年次：小西 涼太
保健学科検査技術科学専攻4年次：阿部 理佐子
保健科学教育部博士前期課程保健学専攻2年次：道前 菜々子

【学生団体】

保健学科看護学専攻：がん検診受診すめ隊
(代表・友近 渚佐 外4名)

※各種活動等において顕著な功績があった学生又は学生団体を表彰する賞です。
※年次は選考時のものです。



徳島大学は、学校教育法第109条第2項の規定による「大学機関別認証評価」を受け、「大学評価基準を満たしている」と認定されました。
(令和2年3月24日)

- 認証評価機関
独立行政法人大学改革支援・学位授与機構
- 認証期間 7年間

編集後記



2020年はコロナに耐え続けた1年でした。大学も様変わりし、講義室や部活動での学生の明るい声が聞けなくなり、学生と直に接する機会も減りました。遠隔講義が開始され、当初は教員も学生も戸惑いがありましたが、何度も講義を見直すことができるなど学生には好評です。また、オンライン会議ツールなどに対する学生の適応力・対応力は高く、見ていて素晴らしいと感じます。一方で、新たな大学風景になっても、顔と顔を合わせて共に励む大学生活は重要だと強く思います。この号が発刊される頃は、新入生の入学時期です。期待をいっぱいに入學してくる学生を前向きに迎えられるよう、新年度に向けて気持ちも新たに頑張りたいと思います。

(医学部広報委員会 副委員長 野間口雅子)

発行 徳島大学医学部 編集 医学部広報委員会
広報委員 廣瀬 隼(委員長)、野間口雅子、勢井宏義、橋本一郎、濱田康弘、友竹正人、木虎 章、久本 駿、山崎 穂、山本さくら

本誌へのご意見・ご要望は、(総務係) E-mail: isysoumu1k@tokushima-u.ac.jp までお願いします。
なお、写真は執筆者各位の提供により掲載しています。

Tel: 088-633-9116 Fax: 088-633-9028 URL <https://www.tokushima-u.ac.jp/med/>

医学部ホームページはこちらから →

